

東洋大学学術情報リポジトリ Toyo University Repository for Academic Resources

論文以外のコンテンツ

雑誌名	dialogos
号	10
発行年	2010-03
URL	http://id.nii.ac.jp/1060/00004977/

dialogos



東洋大学文学部紀要 第63集
英語コミュニケーション学科篇
第10号

dialogs

第 10 号

東洋大学文学部紀要 第 63 集

英語コミュニケーション学科篇

目 次

D・H・ロレンスー生涯と作品 (1)	倉 田 雅 美 …………… 1
アルプスのロマンシュ語	鈴 木 雅 光 …………… 25
鷗外の言語実験とそのゆくえ	山 中 桂 一 …………… 39
Recent Reflections on Applying Statistical Research Methods to Second Language Acquisition Research	Phillip Rowles …………… 73
Assessing Student Acceptance of Moodle	Peter Ilic …………… 81
Applying Computer Software Technology to Develop English as a Foreign Language Vocabulary Acquisition	Phillip Rowles …………… 91
「Praat」を用いたニュース英語の音声分析	名 倉 秀 人 …………… 101
海外で泳ぐ	鈴 木 雅 光 …………… 115

平成 21 年度英語コミュニケーション学科活動報告 ……………	125
平成 21 年度英語コミュニケーション学科専任教員活動報告 ……………	131
投稿規定 ……………	140

《編集後記》

ことしの就職戦線が例年にまして悪いことはゼミ生の動向を見ていてもわかる。就職活動の期間が長引いているだけでなく、就職率も第一期生のとき以来の低さである。もうひとつ気づいたことは、3年生にまでこの状況が影響しているらしく、すでに春学期から説明会や会社訪問のために授業を抜ける学生や“リクルート・ルック”が目についた。

いわゆる「青田刈り」の弊害は言われて久しいけれども、このような早期から新人の確保に動くことが企業や機関など採用者がわにとってどれほど有利であるか極めて疑わしい。要するに趨勢に遅れると割をくうという意識だろうが、自己形成もまだ途上の、これから専門課程という学生にどうやって、どのような目星をつけようというのか理解に苦しむ。大学入試を第一次の入社試験と見なすのと大して変わらないのではないか。

大学、あるいは大学教育に直接しわよせが来ることはいうまでもない。後期専門科目から履修者が退いてゆくだけでなく、リサーチ・スタディーズやゼミなど、学生の参加と自主研究に重点を置いた教科が空洞化し、卒業論文がおざなりになる。諸資格の取得や学力テストの受験も3年次に最も多く、能力テストの場合には学科で奨励してきた経緯すらあるが、前倒し傾向がそこに波及する可能性は充分にある。

しかし考えてみると、就職に有利であるとして教科外で各種資格を取得することを黙認してきた大学の側にも責任がないとは言えない。重要な機能のひとつを、より功利的な形態に譲り渡してしまったからである。大学教育の空洞化はさらに進む恐れがあるが、これは産業・教育界双方の問題としてもっと深刻化するまで見直しの気運は生まれない気がする。ただ、その芽が全くないわけではない。新聞報道によると、ある精密機械の製造会社がことしから早期求人を停止したそうである。これが英断として報道されるようでは、大きなうねりはまだ程遠いといわざるを得ないが、ひとつの希望の種ではある。(KY)

dialogos

第 10 号

発行日	平成 22 (2010) 年 2 月 28 日
発行所	東洋大学文学部英語コミュニケーション学科
住 所	〒 112-8606 文京区白山 5-28-20
電 話	03-3945-8425
発行人	宇田川晴義

東洋大学文学部紀要 第 63 集
英語コミュニケーション学科篇

dialogs

Proceedings of the Department of English Communication
Number 10 February, 2010

Contents

D.H. Lawrence: Life and Works (1)	Masami Kurata	(1)
Romansh in the Swiss Alps	Masamitsu Suzuki	(25)
Ōgai's Attempts at Language Innovation	Kei I. Yamanaka	(39)
Recent Reflections on Applying Statistical Research Methods to Second Language Acquisition Research	Phillip Rowles	(73)
Assessing Student Acceptance of Moodle	Peter Ilic	(81)
Applying Computer Software Technology to Develop English as a Foreign Language Vocabulary Acquisition	Phillip Rowles	(91)
An Analysis of the Sound of News English Using "Praat"	Hideto Nakura	(101)
How to Improve English Abroad	Masamitsu Suzuki	(115)
<hr/>		
Reports on Academic and Educational Activities in the Year of 2009		(125)